

## 令和7年度第3回豊山町行政改革推進委員会会議録

### 1 開催日時

令和8年3月27日（金） 午後2時30分から午後3時30分まで

### 2 開催場所

豊山町役場 4階 全員協議会室

### 3 出席者

坪井孝仁委員 岡島政信委員 小野 猛委員 秋田勇人委員 上田秀卓委員  
林美知子委員 水野千鶴委員 金森和彦委員  
服部正樹町長 安藤敏毅副町長 江崎嘉彦理事 林真吾総務部長 佐藤浩介総務課長  
佐藤美樹総務・財政グループ長、富田翔吾総務課事務専門員

### 4 欠席者

藤本洋典委員 萩原聡央委員

### 5 議題

- (1) パブリックコメントの結果及び第7次豊山町行政改革大綱（案）について
- (2) 第7次豊山町行政改革大綱の答申について
- (3) その他

### 6 会議資料

- ・次第
- ・パブリックコメント結果シート（資料1）
- ・第7次豊山町行政改革大綱（案）の新旧対照表（資料2）
- ・第7次豊山町行政改革大綱（案）（資料3）
- ・第7次豊山町行政改革大綱（案）（資料4）
- ・第7次豊山町行政改革大綱（案）の新旧対照表（資料5）

### 7 会議内容

総務課長	<p>定刻になりましたので、ただ今から令和7年度第3回豊山町行政改革推進委員会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご多忙のところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の委員会の進行を務めさせていただきます、総務課長の佐藤と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の委員会につきましては、発言者の氏名を除いて、会議録を公開さ</p>
------	---

	<p>させていただきますので、ご承知おきくださいますよう、お願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従いまして会長よりごあいさつをいただきたいと思ひます。 よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>改めまして金森です。よろしくお願ひします。春らしい気候になつてまいりました。今回が第7次大綱の策定にあたり最後の会となりますので、忌憚のないご意見をいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
総務課長	<p>ありがとうございます。続きまして、町長よりごあいさつ申し上げます。よろしくお願ひいたします。</p>
町 長	<p>本日は、令和7年度第3回豊山町行政改革推進委員会を開催いたしましたところ、ご多忙の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、この3月を以て第6次行政改革大綱の計画期間が終了することに伴い、今年度は第7次行政改革大綱の策定に向けて取り組みを進めてまいりました。</p> <p>これまで2回にわたり行政改革推進委員会でご審議いただきました第7次行政改革大綱について、本日は最終案をご提案させていただきます。</p> <p>委員の皆様方からの忌憚のないご意見をいただき、大綱の策定に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。</p>
総務課長	<p>それでは、本日の会議資料のご確認をお願いします。</p> <p><b>【配布資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ (資料1) パブリックコメント結果シート：A4</li> <li>・ (資料2) 第7次豊山町行政改革大綱（案）の新旧対照表：A4</li> <li>・ (資料3) 第7次豊山町行政改革大綱（案）：A4</li> </ul> <p><b>【追加配布資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (資料4) 第7次豊山町行政改革大綱（案）：A4</li> <li>・ (資料5) 第7次豊山町行政改革大綱（案）の新旧対照表：A4</li> </ul> <p>資料に不足等はございませんでしょうか。</p> <p>また、資料をお持ちでない方は、お申し出くださいますようお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>資料の不足無しの声</b></p> <p>ここで、ご報告申し上げます。</p> <p>豊山町行政改革推進委員会設置条例施行規則第4条の規定に基づき、会</p>

	<p>議の成立には、委員の過半数の出席が必要となっています。</p> <p>現在の出席委員は、10名中8名でございます。よって、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p>
総務課長	<p>それでは、議題に入ります。豊山町行政改革推進委員会設置条例第5条の規定により、議長は会長が行うこととなっております。</p> <p>以後の取り回しについては、会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>ただ今から、会議の進行を私が務めさせていただきます。</p> <p>議題（1）「パブリックコメントの結果及び第7次豊山町行政改革大綱（案）について」について、事務局の説明を求めます。</p>
総務・財政グループ長	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料に基づき説明</span></p>
会長	<p>今日お配りしている資料4の黄色マーカーは前回の会議以降に事務局で修正したところで、さらに私が表現を統一した方がいいんじゃないと思います、追加で修正をお願いして入れてもらったのが、青いマーカー部分です。内容を大きく直したというよりは、表現を統一したというふうに理解をしていただきたいと思います。中身としてこれはどういったことかという質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>11ページの（3）改革項目の文中の「組織・マネジメント」という文言がありますが、先ほどご説明いただいた柱の見直し同様、「組織・人事マネジメントの強化」となっていないといけないのではないのでしょうか。</p>
総務・財政グループ長	<p>ご指摘ありがとうございます。修正いたします。</p>
会長	<p>質問がなければ、委員の皆様と議論したほうがいいと思ったことがあります。また後ほど何か質問があれば受けるという形でいきたいと思いません。</p> <p>どこかと言いますと、私がこうしたほうがいいんじゃないのと思いきから資料を修正した一方で、これは皆さんにお諮りするべきだなと思う部分がありました。資料5の最後の「進捗管理指標」について、もともと令和8年度目標という形で皆さんのお手元に資料が届いたかと思いますが、私は各年度の目標という形にした方がよくないかということで、一旦表現を変えさせてもらいました。ただもちろん答えとして、令和8年度目標にするということ自体は全然問題はないとは思いますが、元々現在の大綱が、年度ごとの目標値が定められていましたが、今回の大綱では令和8年度しか出さないのならば、各年度目標と変えた方がいいんじゃないかな。もし令和8年度目標ということになるならば、令和9～12年度まで追加して5つ目標欄を設けたほうがまだいいですねと感じておりますので、それを避けるためにも、期間内各年度目標としておけばいいのかなと思った次第で</p>

	<p>す。</p> <p>まずはこの表現がいいのかどうかということで、項目によっては合わない部分があるのか、そぐわない部分もあるかもしれません。</p> <p>そうやって資料を眺めていたら最後のページで疑問が発生してしまいました。ふるさと寄附制度の赤字解消というのは、令和8年度に赤字解消したら、令和9年度はどうなんだという話なんです。ずっと継続して赤字解消という表現が正しいかはまだ見えてきてないんですよ。令和8年度に赤字解消、これはこれでいいんです。だから令和9年度以降どうするのかという話で、赤字解消したんだったら黒字ですよ。ですので、表現的にこれでいいのかというのはまだ悩んでいます。それと先ほどご説明いただいたように、私もふるさと寄附制度と聞いた時に、初めはふるさと制度で赤字になるのか疑問に思い、ひょっとしたら赤字になるというのは寄附金受入額よりも、事務経費の方が余分にかかっていたら赤字と考えられ、寄附金を受けて、それに対する返礼品が高くて赤字という意味なのか、いろいろな意味にとれるのでお伺いしたら、要するに受入額と、豊山町民の方が他の自治体に寄附をすることで税金が控除されてしまって町に入っていない額の差引いた結果のことでした。これがマイナスになるということ自体、本来あまり好ましい形ではない、それを含めて解消したいという意識みたいなので、赤字解消とはそういう意味なのねと初めて理解しました。そうしますと、表現は受入額と流出のバランスという形になると表現になるんだろうなということと、あとは各種事務経費という表現で留めた方がいいかなとお願いしておきました。</p> <p>その部分がこれでいいのかなと未だに悩みつつも、とりあえずご了解を得た方がいいかなということで今お願いしている次第です。</p> <p>何かご意見ございますか。</p>
委員	<p>聞きそびれましたが、この目標値というのは、そもそも最終年度の目標なのか、それとも単年度の目標でしょうか。</p>
会長	<p>もともとは単年度目標という形で前回の資料ではなっていますが、最終目標ではないと私は理解しております。でない例えば、収納率の目標が前年度より向上だという言い方をして、同じ表現で各年度のパーセンテージを作ったら最終年度はとんでもないパーセンテージになります。これ自体目標値を正確に出すことはかなり難しいと思います。だから前年度より向上でいいんじゃないの、悪い方向に行っちゃいけないだろうと考えればいいのかと思っています。</p>
委員	<p>それで先ほどの「改革項目⑨ふるさと納税寄附」のところで赤字解消と出ましたが、それが本当に次の年度ですぐにできるのでしょうか。最終年度に赤字解消だったらまだわかりますが、翌年度にすぐ赤字解消ができるだったら、今までに達成できているのではないかとはいいます。その表</p>

	現を今の寄附金額の何%アップとした方が最終年度に向けて評価しやすくなりませんか。翌年度に赤字解消できなかつたら×評価になるんですよね。
会 長	そうですね。なんかもしくは赤字幅縮小という形になったら、評価は△になりますか。だから実際のところ、最終目標は黒字ですよという黒字が増えることが目標なんですよ。だからまずその前の段階でマイナスがゼロになる、ゼロがプラスになる、プラスがさらにプラスになる。そういう表現だと、令和8年度目標が赤字解消でいいのかなという疑問は実は直したあとでも思っています。
委 員	ここはどうも引っかかっています。
会 長	これについて数字的に出ていますか。赤字は今いくらですか。
総務・財政 グループ長	令和6年度実績でお伝えすると、まず寄附受金額は、現状値で示している通り13,526,000円ですが、本町にお住まいの方が他の自治体へ寄附した結果寄附金控除で本来入るべきだった住民税が入らなかったところで、この金額が57,281,519円なのでその差額が4,400万円ほどマイナスになっています。
会 長	この数値はその前の年と比較して改善されているのか悪化しているのかどちらでしょうか。
総務・財政 グループ長	悪化しています。
会 長	そうすると最終目標が赤字解消になりませんか。
委 員	今、委員言われた赤字解消ということにすごく違和感を持っており、各種事務経費も含めると、事務経費はいくらくらいかかっていますか。
総務・財政 グループ長	令和6年度にかかった経費が600万円ほどでしたので、先ほど控除分と合わせると5000万赤字の計算になります。
委 員	要はそれだけマイナスになっているので、翌年度赤字解消というのは、よほど何か豊山町の中で大きな変化が出てこないと程遠い目標に思ってしまう。例えばこのパーセンテージで示すとか、赤字を何%縮小するだとかというぐらいで、赤字解消は理想としてはそういう目標は掲げるべきだろうと思いますが、あまりにも他の目標値に比べて遠い目標になっているのではないかと。例えばパーセンテージもしくは縮小を目指すという表現にした方がいいのではないのでしょうか。
会 長	単純に15%程度赤字を減らしていくと、最終的には黒字になるという表現は計算上できると思います。それができるかどうかというのは別の話ですが。
委 員	もう1点ですけども、やはりその町の財政状況によって大きく変わってくると思います。交付団体なんか不交付団体なのかということによると

	<p>思うんですけども、そうすると、このふるさと寄附制度のところでの交付金の問題が関わってきます。これにより一気に目標値に近づいてくる数字になってくるかどうかその辺も踏まえると、赤字解消ということよりは、縮小とした方がいいと思います。</p>
会長	<p>ふるさと寄附制度の考え方からすると、実は本来の制度の恩恵を受けなければいけない自治体が、むしろ恩恵を受けてないとパターンが多いのも事実で、逆にこれ果たしてそのままの制度設計のまま進めていく必要があるのか疑問に思わなくないです。また私が知る限りでは、その自治体をとにかく認知度を高めようとの考えから多少の赤字も覚悟するといった議論もあります。</p> <p>ただ委員がおっしゃったように、確かに厳しい目標とするよりは、多少なりとも実現可能な形にしようするならば、初めから削減か縮小となると思うが、どうですか。</p> <p>あと、表現でどうしても気になったのが、前年度より向上という表現。確かに前年度より向上という表現しかないんだらうと実際にはそう思いますが、大綱を見た人や町民の方がどう判断するのか。</p> <p>少なくとも現状で収納率を書いておいてもらうのはどうでしょうか。現状値があり、その横に前年度より向上と言われたら、これよりもよくなるというイメージが少なくとも持てると思います。</p>
委員	<p>令和8年度に対してや数値化した基準がないと、目標値を前年度より向上としたときに評価の際に何も見えて来ません。令和6年度の結果というのは、まだ出ていないかもしれませんが、どこかのタイミングではわかるはずなので、それをベースに入れて基準にしますか。</p>
会長	<p>現状値に令和7年度の数字が入るわけではないのですか。</p>
総務・財政グループ長	<p>改訂する時期によって、数値がわかっているものとないものがあります。</p>
会長	<p>改訂時にわかっている数値でいいので記載をしていただきたい。</p>
委員	<p>話が少し変わるが、具体的な手法の部分のところを、お聞きしたいと思うんですけども3つの柱のうちの(1)組織・人事マネジメントの中に、「組織見直し」という項目がある。4月から組織が一部見直しされたため、町の考え方お聞きしたいと思う。室からグループに変えることに、どういう意味合いがあるのかとお聞きしたい。イメージ的に室からグループに変わることは組織内の中での格としてはちょっと下がるようなイメージがありますが、その辺についての認識はどうですか。</p>
総務課長	<p>まず今ご指摘になっている箇所について、この第7次の大綱が令和8年度から始まる大綱であり、令和8年度からの5年間における組織の見直しをまずここでは指示しているが一つあります。</p>

	<p>令和8年度4月からデジタル化推進室を企画課と、防災拠点推進室とまちづくり推進課を統合するというこの2つの組織の改革を行います。それについての考え方について、その組織がなくなるから、その事業の重要性を町として変えているというわけでは決してなく、限られた人材や組織の理想のあり方をいろいろ追求していく中で、今回は室と課を統合して運用していく方がより効果を出すことができる体制になるのではないかと個別に判断して、組織の改変を行います。</p>
委員	<p>具体的に言うと、例えば今言ったデジタル化推進室からデジタル化推進グループに変わるということで、DXの推進をこの行革の中で示しているのであれば、室からグループに変えることによって、推進はより効率的にしていけるのかというのが、この行革と示されてる部分と、実際に4月1日から行われる組織改革のところと整合性が取れていないのではないかと疑問に思い、この質問をさせてもらってるんですけど。</p>
会長	<p>組織編成するときに、昔ながらの部課という考え方もある一方、新しい組織的な話からすると、フレキシブルに動かすというイメージがあり、グループ単位で移動した方が柔軟性が保たれるといった考え方もあります。一般の人がどう思うかについては確かに委員の指摘のとおりですが。</p>
委員	<p>今おっしゃった計画を推進していく上で、グループに変えたいという方針があり、その辺は整合性が取れてればいいとは思いますが。より融通が利いて、積極的な展開を図るようになるということがベースにあるの組織見直しであれば問題ありません。</p>
会長	<p>それは説明がしっかりできるかどうかだと思います。それを準備しておいてということですね、ありがとうございます。</p>
会長	<p>目標に関しては単年度でいいですか。</p> <p>収納率の向上の「向上」は、向上することが目標であるため削除いただきたい。また、現状値が空欄の箇所は、現状で実績なしならそう書いてもらい、できる限り数字を書いてもらえると評価がしやすくなります。</p> <p>最終的には、今日諮問する必要がありますが、これは訂正したものを諮問するのでしょうか。</p>
総務課長	<p>訂正は最終的には会長に確認していただくことの一任を委員の皆様にいただきます。</p>
会長	<p>他にはよろしいですか。とにかく数値を入れられる部分は入れておいてください。</p> <p>特にコミュニティの自治会の加入率については、いろんな手を使って、どういうふうにするのかっていうのを、どこの自治体でも悩んでいます。大都市は大都市なりに困っているところもあり、過疎地は過疎地で困っており、そもそも加入率100%だけれど全く動いてないところもあります。</p>

	ただ豊山町の場合は、加入率も上がれば当然活動率も上がるという性格を持っている地域だと思うので。今のところは、加入率ということですから本当は活性化書きたいところですが。
委員	町長も多くの自治会の総会に出られてる中で必ず話題となるのが、自治会の加入率低下の問題が出てきます。やはり今、これから5年間の加入率を上げるなかなか難しく、活性化という言葉を抑えた方が時代とは合ってるような気がします。
会長	加入率が上がれば、活動は上がるという話と活動を上げればその成果を見て加入率が上がるという話があります。どちらが優先と言われたらどちらも優先ということで終結してしまいます。目標としやすいのは確かに加入率でも本来の意味からすれば活動率だと思います。 自治会加入の実態はどうですか。
委員	数年前にある自治会長が未加入の方に対して自治体加入の訪問をした際に、多少は入られたようですが、多くは入らなかったと聞きました。
委員	現状値が40%とか60%だったら、入らなくてもいいんだよなと判断する人も出てくる可能性はあるかもしれません。
委員	既にその状態な気がします。
会長	公平性のある自治会加入のメリットがあればいいですが、なかなか見つかりません。
会長	あんまり時間を取ってもいけないので、少しこれの質問とか訂正がなければ、大綱の趣旨に沿って進めていきたいと思います。 委員の皆様のご意見等も無いようですので、議題の(1)「パブリックコメントの結果及び第7次豊山町行政改革大綱案について」は、終わります。 続きまして、議題の(2)「第7次豊山町行政改革大綱の答申について」です。 年3回にわたり、大綱案について、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。 8月21日に開催した第1回行政改革推進委員会で、町長から委員会に「第7次豊山町行政改革大綱の策定について」の諮問を受けています。 今回は諮問に対する答申を、委員会から町長に行う必要があります。 会長として答申案を作成しましたので、委員の皆様にご確認いただきたいと思いますが、先ほど大綱案に修正がありましたので、その部分につきまして、後日、私の方で確認した上で大綱案としたいと考えていますが、ご了承いただけますでしょうか。 <div style="text-align: center;">委員から異議なしの声</div> それでは事務局から答申案を配付していただきますのでご確認ください

	<p>い。</p> <p style="text-align: center;"><b>事務局が答申案を配布</b></p> <p>事務局から配付された答申案について、委員の皆様からご意見・ご質問がありましたら、いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>委員から異議なしの声</b></p> <p>答申案に問題が無いようですので、こちらの答申書を町長に提出させていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><b>会長が答申書を読み上げ、町長に手渡し</b></p>
会 長	<p>以上で、議題（２）「第７次豊山町行政改革大綱の答申について」は、終わります。</p> <p>続きまして、議題（３）「その他」について、事務局、何かありますか。</p>
総務課長	<p>特にございません。</p>
会 長	<p>委員の皆様、何かありませんか。</p> <p style="text-align: center;"><b>委員から特になしの声</b></p> <p>特に無いようでしたら、本日の会議は、これで終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
総務課長	<p>委員の皆様におかれましては、年３回にわたり、大綱案についてご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>今回の委員会で、今年度は最後となります。来年度につきましては、年１回の開催を予定しています。</p> <p>開催日等につきましては、改めて文書にてご案内させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。</p>